



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日  
東

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所  
 コード番号 4972 URL http://www.soken-ce.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 逢坂 紀行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長(氏名) 滝澤 清隆 (TEL) 03-3983-3268  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,170	△11.6	1,644	△5.6	1,528	△8.7	1,298	1.2
2019年3月期第3四半期	23,956	9.0	1,742	△21.6	1,673	△25.9	1,283	△28.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 805百万円(11.7%) 2019年3月期第3四半期 721百万円(△66.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	157.31	—
2019年3月期第3四半期	154.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	35,254	22,818	64.7
2019年3月期	36,608	22,550	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,818百万円 2019年3月期 22,550百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△7.3	1,900	△10.1	1,650	△19.0	1,300	△11.1	157.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,300,000株	2019年3月期	8,300,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	83,966株	2019年3月期	13,924株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	8,256,253株	2019年3月期3Q	8,286,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦の影響による中国の景気減速や、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりなどから、世界経済の減速傾向が顕著になり、国内においても輸出や生産活動が低迷し、個人消費が伸び悩むなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、アジア地域での事業規模拡大と収益性向上、革新的な材料・技術開発による事業領域の拡大を果たすために、中国市場での大型液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大に応じた生産能力増強や市場・顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力の強化による既存事業の収益基盤の強化、高付加価値製品領域へのリソースシフトやグループ全体での販売・開発・生産体制の最適化等による事業構造改革の推進、技術革新が進む自動車・ヘルスケア分野等での他社協業など自前主義からの脱却による新たな事業領域の創出に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、中国の景気減速や液晶ディスプレイ関連の需要低迷の影響を受けてケミカルズの販売が減少したことや、装置システムの工事完成高が減少したことにより、売上高は211億700万円（前年同期比11.6%減）となりました。

利益面では、原料価格や経費の低減に努めたものの、販売数量の減少による減益影響や、人民元安に伴う為替差損の計上などにより、経常利益は15億2800万円（前年同期比8.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社である盤錦遼河綜研化学有限公司の出資持分を譲渡したことに伴う法人税等の減少などにより、12億9800万円（前年同期比1.2%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### <ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高191億5400万円（前年同期比9.3%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、液晶ディスプレイ関連分野での生産調整等の影響を受けて販売数量が減少したことなどにより、売上高は120億9600万円（前年同期比4.8%減）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散フィルム用途向けは堅調に推移したものの、電子部品関連用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は19億2600万円（前年同期比16.3%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が減少し、売上高は18億4900万円（前年同期比25.3%減）となりました。

加工製品は、中国市場における機能性粘着テープの販売が電子情報機器用途の一部で回復したものの、総じて販売数量が減少したことにくわえ、人民元安の影響を受けて売上高は32億8200万円（前年同期比9.7%減）となりました。

#### <装置システム>

装置システムについては、国内設備投資に慎重姿勢が強まるなか、設備関連の工事完成高が前年同期を下回り、売上高は20億1600万円（前年同期比28.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて13億54百万円減少し、352億54百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、有価証券、たな卸資産が減少したことなどにより、前期末に比べ21億50百万円減少し、193億92百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ7億96百万円増加し、158億61百万円となりました。

一方、負債については支払手形及び買掛金、賞与引当金、借入金が減少したことなどにより、前期末に比べ16億23百万円減少し、124億35百万円となりました。

当期末における純資産は、自己株式の取得、為替換算調整勘定の変動により減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べ2億68百万円増加し、228億18百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末61.6%から3.1ポイント増加し64.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年10月29日に公表いたしました業績予想から変更しておりませんが、現在精査中であり、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,010,851	3,683,479
受取手形及び売掛金	9,466,666	8,453,981
電子記録債権	505,887	489,143
有価証券	3,500,000	2,500,000
商品及び製品	3,673,515	2,688,215
仕掛品	49,794	140,099
原材料及び貯蔵品	1,035,909	1,031,575
その他	315,408	417,593
貸倒引当金	△14,761	△11,312
流動資産合計	21,543,270	19,392,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,109,841	14,023,794
減価償却累計額	△7,824,062	△8,019,727
建物及び構築物（純額）	6,285,778	6,004,066
機械装置及び運搬具	17,305,051	16,948,517
減価償却累計額	△13,870,264	△13,903,984
機械装置及び運搬具（純額）	3,434,786	3,044,533
土地	1,233,158	1,354,651
建設仮勘定	750,025	2,082,946
その他	2,438,876	2,506,545
減価償却累計額	△1,908,447	△1,959,323
その他（純額）	530,428	547,221
有形固定資産合計	12,234,177	13,033,419
無形固定資産		
その他	254,673	379,087
無形固定資産合計	254,673	379,087
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,735	1,053,793
関係会社出資金	159,753	—
繰延税金資産	830,346	794,749
その他	558,838	603,521
貸倒引当金	△3,120	△3,120
投資その他の資産合計	2,576,553	2,448,944
固定資産合計	15,065,404	15,861,451
資産合計	36,608,674	35,254,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,660,764	5,494,420
短期借入金	1,206,811	992,326
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	105,730	33,667
賞与引当金	584,821	249,703
役員賞与引当金	49,000	30,000
完成工事補償引当金	9,300	4,100
工事損失引当金	3,850	7,870
その他	1,903,983	2,324,305
流動負債合計	10,764,262	9,376,393
固定負債		
長期借入金	1,360,000	1,120,000
退職給付に係る負債	1,914,431	1,917,998
その他	19,841	20,865
固定負債合計	3,294,273	3,058,864
負債合計	14,058,535	12,435,258
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,383,088	3,391,214
利益剰余金	14,819,607	15,662,680
自己株式	△11,340	△100,430
株主資本合計	21,552,918	22,315,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,584	360,937
為替換算調整勘定	818,985	295,329
退職給付に係る調整累計額	△170,349	△152,327
その他の包括利益累計額合計	997,219	503,940
純資産合計	22,550,138	22,818,967
負債純資産合計	36,608,674	35,254,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	23,956,199	21,170,817
売上原価	16,961,531	14,355,168
売上総利益	6,994,667	6,815,649
販売費及び一般管理費	5,252,011	5,170,717
営業利益	1,742,655	1,644,931
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,937	31,867
持分法による投資利益	12,967	16,180
補助金収入	50,209	36,878
雑収入	26,638	38,194
営業外収益合計	120,752	123,121
営業外費用		
支払利息	55,035	35,492
為替差損	114,765	157,689
雑損失	19,613	46,365
営業外費用合計	189,414	239,548
経常利益	1,673,993	1,528,505
特別利益		
固定資産売却益	1,532	122
投資有価証券売却益	—	16,135
関係会社出資金売却益	—	904
特別利益合計	1,532	17,162
特別損失		
固定資産除売却損	32,074	23,946
特別損失合計	32,074	23,946
税金等調整前四半期純利益	1,643,451	1,521,721
法人税等	359,786	222,914
四半期純利益	1,283,664	1,298,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283,664	1,298,807



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,283,664	1,298,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172,097	12,353
為替換算調整勘定	△407,244	△443,267
退職給付に係る調整額	24,120	18,022
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,294	△80,387
その他の包括利益合計	△562,516	△493,279
四半期包括利益	721,147	805,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,147	805,527

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,124,559	2,831,639	23,956,199	—	23,956,199
セグメント間の 内部売上高又は振替高	200	7,180	7,380	△7,380	—
計	21,124,760	2,838,819	23,963,580	△7,380	23,956,199
セグメント利益	1,535,688	155,986	1,691,674	50,980	1,742,655

(注) 1. セグメント利益の調整額50,980千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,154,675	2,016,142	21,170,817	—	21,170,817
セグメント間の 内部売上高又は振替高	244	34,200	34,444	△34,444	—
計	19,154,919	2,050,342	21,205,261	△34,444	21,170,817
セグメント利益	1,518,650	88,934	1,607,584	37,347	1,644,931

(注) 1. セグメント利益の調整額37,347千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。